

| | | | | |
|-----------------|-----|----|-----|------|
| 授業科目：成人看護学臨地実習Ⅰ | 2年次 | 実習 | 2単位 | 90時間 |
|-----------------|-----|----|-----|------|

| 時間 | 項目 | 内容 |
|--|------------|---|
| 90 | 成人看護学臨地実習Ⅰ | 回復期・慢性期・終末期にある患者を1人受け持ち、看護過程を展開する。詳細は、実習要項参照。 |
| 目的：成人期にある対象の発達段階の特徴をふまえて、健康上の課題を持つ対象を理解し、個別の看護を学ぶ。 | | |
| 目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象とより良い人間関係を築くための行動を身に付ける。 2. 対象の発達段階の特徴と発達課題を理解する。 3. 健康障害を持つ対象が目指す状態と看護の方向性、看護上の問題を考察する。 4. 看護上の問題を解決するために、対象に合わせた看護計画を立案し、実施・評価・修正をする。 5. 保健医療福祉チームにおける看護の役割に気づきを示す。 6. 看護実践を通して看護に対する考えを述べる。 | | |
| 評価方法：評価表を用いて評価を行う。 | | |
| 先修科目：解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ | | |
| 実習場所：新潟県立十日町病院、新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院、魚沼市立小出病院、南魚沼市民病院、南魚沼市立ゆきぐに大和病院、医療法人齋藤記念病院、長岡赤十字病院、新潟厚生連小千谷総合病院、津南町立津南病院 | | |

| | | | | |
|-----------------|-----|----|-----|------|
| 授業科目：成人看護学臨地実習Ⅱ | 3年次 | 実習 | 2単位 | 90時間 |
|-----------------|-----|----|-----|------|

| 時間 | 項目 | 内容 |
|---|------------|---|
| 90 | 成人看護学臨地実習Ⅱ | 急性期・回復期・慢性期・終末期にある患者を1人受け持ち、看護過程を展開する。詳細は、実習要項参照。 |
| 目的：成人期にある対象の発達段階の特徴をふまえて、健康上の課題を持つ対象を理解し、看護を実践するための基礎的能力を習得する。 | | |
| 目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の発達段階の特徴と、対象を取り巻く環境をふまえ対象を理解する。 2. 健康障害を持つ対象が目指す状態と看護の方向性、看護上の問題を考察する。 3. 対象の看護上の問題を解決するために、対象に合わせた看護計画を立案し、実施・評価・修正をする。 4. 保健医療福祉チームの一員としてチームで情報を共有する。 5. 看護実践を通して看護について考えを深める。 | | |
| 評価方法：評価表を用いて評価を行う。 | | |
| 先修科目：成人看護学臨地実習Ⅰ | | |
| 実習場所：新潟県立十日町病院、南魚沼市民病院、南魚沼市立ゆきぐに大和病院、魚沼市立小出病院、医療法人齋藤記念病院、新潟厚生連小千谷総合病院、長岡赤十字病院 | | |

授業科目：成人看護学臨地実習Ⅲ 3年次 実習 2単位 90時間

| 時間 | 項目 | 内容 |
|--|------------|---|
| 90 | 成人看護学臨地実習Ⅲ | 急性期・回復期・慢性期・終末期にある患者を1人受け持ち、看護過程を展開する。詳細は、実習要項参照。 |
| 目的：成人期にある対象の発達段階の特徴をふまえて、健康上の課題を持つ対象を理解し、セルフマネジメント支援を実践するための基礎的能力を習得する。また、倫理的判断に基づき行動できる感性を養う。 | | |
| 目標： 1. 対象のセルフマネジメント能力を理解し、援助の必要性を判断する。 2. 対象のセルフマネジメント能力を高める看護を実践する。 3. 対象の健康を維持するために必要な社会資源を理解する。 4. 看護実践をもとにセルフマネジメント支援についての考えを深める。 5. 自ら問題意識を持ち看護の倫理的課題を解決する可能性を考える。 | | |
| 評価方法：評価表を用いて評価を行う。 | | |
| 先修科目：成人看護学臨地実習Ⅰ | | |
| 実習場所：新潟県立十日町病院、新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院、南魚沼市民病院、 魚沼市立小出病院、長岡赤十字病院、新潟厚生連小千谷総合病院 | | |